

# したいふじゆう 肢体不自由



事故による損傷や先天性の疾病などが原因で、上肢・下肢に欠損やまひ、筋力低下などが生じています。そのため、日常の動作や姿勢の維持が不自由になります。

病気や事故で脳に損傷を受けた場合には、言葉の不自由さや記憶力の低下などを伴うことがあります。肢体不自由の中でも、脊髄損傷、脳性まひ、筋ジストロフィーなど全身に障がいがある状態を全身性障がいといいます。

## しょう れい 障がいの例

○脊髄損傷…手足が動かないだけでなく、感覚もなくなり、体温調節が困難です。

○脳性まひ…顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまう（不随意運動）のに加え、発語の障がいがある人もいます。

○筋ジストロフィー…全身の筋肉がだんだんと委縮していく難病で、委縮が進むと全面的な介助を必要とする重度身体障がいとなります。

○摂食嚥下障がい…食べること、飲み込むことが困難なため、食べものにトロミをつけたり細かく刻むなどの加工が必要です。



## こんなサポートがうれしい！

こま せっきよくてき こえ か  
困ってイそうなときは積極的に声を掛けてください。

くま しょうしゃ せま ほどう だんさ いどう さまた しょうがいぶつ  
車いす使用者にとっては、狭い歩道やちょっとした段差が、移動を妨げる障害物  
となります。また、高いところにあるもの、床にあるものを取ることは困難です。  
「お手伝いしましょうか？」などとさりげなく声を掛け、どんな手助けが必要か  
たずねてください。

せき ゆず たす  
席を譲っていただけると助かります。

つえ か しそうぐ りよう ばあい ちようじかん ほこう りつい ほじ こんなん かた おお  
杖や下肢装具を利用している場合は、長時間の歩行や立位の保持が困難な方が多  
くいます。また、電車やバスなどではバランスを崩して転倒しやすくなります。  
中には立ったり座ったりの動作が煩わしいため席が空いていても座らない方もい  
ます。手すりのある場所を譲ってもらうだけでも安心です。

はなし き と ばあい かくにん  
話が聞き取りにくい場合は確認してください。

のうせい ひと なか はな むすか かお てあし じ  
脳性まひの人の中には、スムーズに話すことが難しかったり、顔や手足などが自  
分の思いとは関係なく動いたりしてしまうため、自分の意思を伝えるにくい人もい  
ます。聞き取りにくい場合でも、分かったふりをせず、きちんと内容を確認して  
ください。

はなし めせん あ  
話をするときには目線を合わせてください。

くま しょう た しせい はなし あいて みあ  
車いすを使用しているときに、立った姿勢で話をされると相手を見上げなければ  
ならないので、疲労又は威圧感を感じることもあります。話をするときには、少  
しかがんで目線の高さを合わせることで、気軽に会話ができます。

たと  
例えば、こんなことがあります。



くま しょう にもつ お けいしゃ  
車いすを使用していると、スロープのすぐそばに荷物が置いてあったり、傾斜が  
急になっていたり、店舗内の通路が狭かったりして移動できない、商品棚が高く  
てほしい商品を取ることができないなど、不便なことがあります。

そんなとき、周りの人から積極的に一声掛けてサポートしてもらおうと、うれしい  
です。